

「生駒市農業委員会の活動」

(奈良県生駒市)



担い手への
農地利用の
集積・集約化

遊休農地の
発生防止・
解消

新規参入の
促進

その他(農業
委員会の体
制強化等)

1 地区の特徴・状況、課題

【特徴・状況】

- 都市型近郊農業で小規模兼業農家～兼業農家がほとんど
- 農作物の主なものとしては水稲、玉ねぎ、きゅうり、白菜、大根などの少量多品目



【課題】

遊休農地が多い

- 農地が小さく大規模化が困難 → 収益率が低い
 - イノシシ等の被害が多い → 耕作意欲の減退
- 遊休農地の増加へ



担い手の高齢化・後継者不足

- 兼業農家が多く、若年層から農業を引き継ぐ人が少ない。

| | | | | |
|------|--------|--------|--------|--------------|
| 農地面積 | 市街化区域 | 調整区域 | 計 | (農家台帳より) |
| | 約118ha | 約526ha | 約644ha | |
| 農家戸数 | 自給的農家 | 販売農家 | 計 | (農林業センサスによる) |
| | 491戸 | 274戸 | 765戸 | |
| 販売農家 | 専業農家 | 兼業農家 | 計 | |
| | 76戸 | 198戸 | 274戸 | |

2 課題解決に向けた活動 (農地利用の最適化の推進の取組と工夫)

生駒市は、奈良県の北西部に位置し、大阪府に隣接していることが強みであり、他市町村の法人・住民からの新規就農の打診もある。利用状況調査等の結果をもとに、農地をバンク登録し、新規就農者への斡旋に備える他、以下活動を展開。

遊休農地が多い

◎ 農地復元

遊休農地解消活動

- ・遊休農地を農業委員自らが農地に再生 (平成24年度から3ヶ所で実施)
- ・再生した農地で収穫体験イベントや農業祭用の葉牡丹栽培を実施し、終了後、農地を貸し出し



(現状も農地として活用)

- ◎鳥獣等対策として、農作物被害で狩猟免許を取得される方などに取得費用の1/2を補助 (経済振興課農林係)

担い手の高齢化・後継者不足

◎ 農業を知ってもらおう

- 農作業着ファッションショー(農業祭にて開催)
- ・カラフルで機能性の高い作業着の紹介など
- ～農業への地味なイメージを払拭



親子芋ほり体験(農業祭にて開催)

- ・小学生以下を対象としたイモ掘り体験を行う
- ・小さい頃から土にふれ、農業に興味関心を持ってもらう



農業人フェアに農業委員会として参加し新規就農者を勧誘

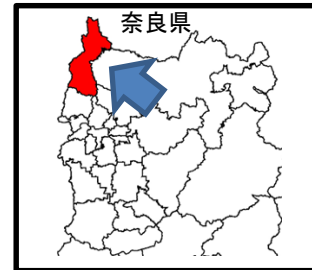
◎ 新規就農者を応援

農業指導員制度

スキルを持った農家による新規就農者への営農支援



新規就農者支援の案内ポスター



3 活動(取組と工夫)の結果

過去3年において、新規参入者12者であり、農地の活用は4.6haである。

農業委員会で解消した遊休農地は、市が非農家の方に貸し出しする特定農地事業で活用している。

| | | | | | | |
|-----------|------|-------|------|--------------------------|---------|-------|
| 新規参入の状況 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 管内農地 (H29.3.31現在・農家台帳より) | これまでの集積 | 集積率 |
| | 2経営体 | 2経営体 | 8経営体 | | | |
| 新規参入者農地取得 | 1ha | 0.6ha | 3ha | 集積・集約化 | 644ha | 1ha |
| | | | | | | 0.16% |

※平成28年度遊休農地解消実績は0%でした。

4 今後の活動

農業生産法人へのアプローチ・農地バンクの更なる整備等